

Kracie

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるように大切に保管してください。

第2類医薬品

漢方製剤

「クラシエ」漢方桃核承気湯エキス顆粒S (トウカクジョウキトウ)

特 徴

- 「桃核承気湯」は、漢方の代表的な^{クオケツ} 驅瘀血劑（^{オケツ} 瘀血をとる薬方）です。日頃、丈夫で便秘がち、のぼせが強く足腰が冷えるような人の場合に使用します。瘀血とは微小血管の血流がわるくなって停滞することを言います。
- 体力中等度以上で、のぼせて便秘しがちな方の月経不順、月経痛、月経時や産後の精神不安、便秘、腰痛などに効果があります。

⚠️ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください
生後3ヵ月未満の乳児
2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください
他の瀉下薬（下剤）
3. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
(1) 医師の治療を受けている人
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
(3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）
(4) 胃腸が弱く下痢しやすい人
(5) 高齢者
(6) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人
(7) 次の症状のある人
むくみ
(8) 次の診断を受けた人
高血圧、心臓病、腎臓病
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。
その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
下痢
4. 1ヵ月位（便秘に服用する場合には5～6日間）服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
5. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
6. 本剤の服用により、予期しない出血があらわれた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

効能

体力中等度以上で、のぼせて便秘しがちなものの次の諸症：

月経不順、月経困難症、月経痛、月経時や産後の精神不安、腰痛、便秘、高血圧の随伴症状（頭痛、めまい、肩こり）、痔疾、打撲症



月経不順



便秘

用法・用量

次の量を1日3回食前又は食間に水又は白湯にて服用。

年齢	1回量	1日服用回数
成人（15才以上）	1包	3回
15才未満7才以上	2/3包	
7才未満4才以上	1/2包	
4才未満2才以上	1/3包	
2才未満	1/4包	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (2) 1才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させてください。

*成分

成人1日の服用量3包(1包1.8g)中、次の成分を含んでいます。

桃核承気湯エキス(3/4量) 1,875mg
〔トウニン3.75g、ケイヒ3.0g、ダイオウ2.25g、カンゾウ1.125g、無水ボウショウ0.75gより抽出。〕

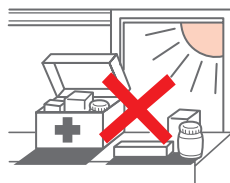
添加物として、ヒドロキシプロピルセルロース、乳糖、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールを含有する。

〈成分に関連する注意〉

本剤は天然物（生薬）のエキスをを用いていますので、顆粒の色が多少異なることがあります。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 使用期限のすぎた商品は服用しないでください。
- (5) 1包を分割した残りを服用する時は、袋の口を折り返して保管し、2日をすぎた場合には服用しないでください。



健康アドバイス

●規則正しい食事を

食事は1日3回、決まった時間に規則正しくとるようにしましょう。暴飲暴食をさけ、バランスのよい食事をすることが大切です。



●体を冷やさない

生理の一週間ほど前から足腰を温めるようにしましょう。血行をよくすることで生理の痛みも和らぎます。体を冷やさないように工夫することが大切です。



副作用被害救済制度の問合せ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/>
☎ 0120-149-931

本剤について、何かお気づきの点がございましたら、お買い求めのお店又は下記までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

クラシエ薬品株式会社 お客様相談窓口 ☎ (03) 5446-3334
受付時間 10:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

ホームページ www.kracie.co.jp

発売元 **クラシエ薬品株式会社**
東京都港区海岸3-20-20 (〒108-8080)

製造販売元 **クラシエ製薬株式会社**
東京都港区海岸3-20-20 (〒108-8080)